

経営比較分析表（令和3年度決算）

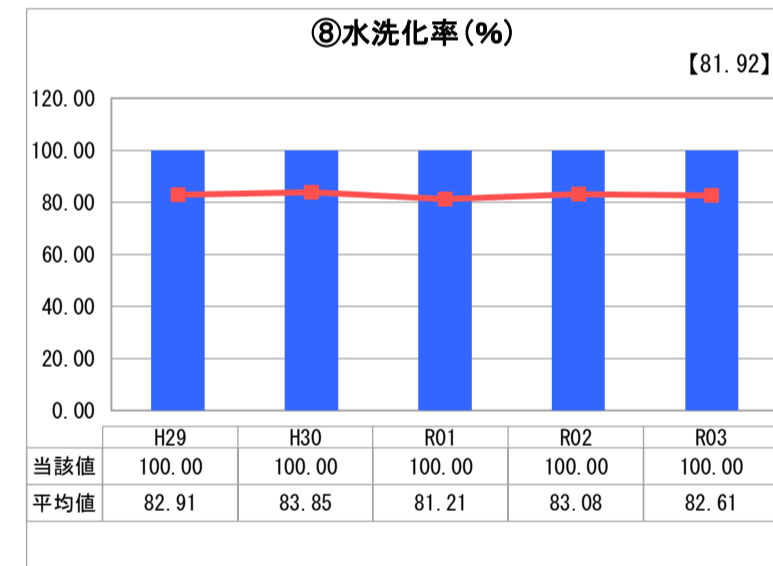
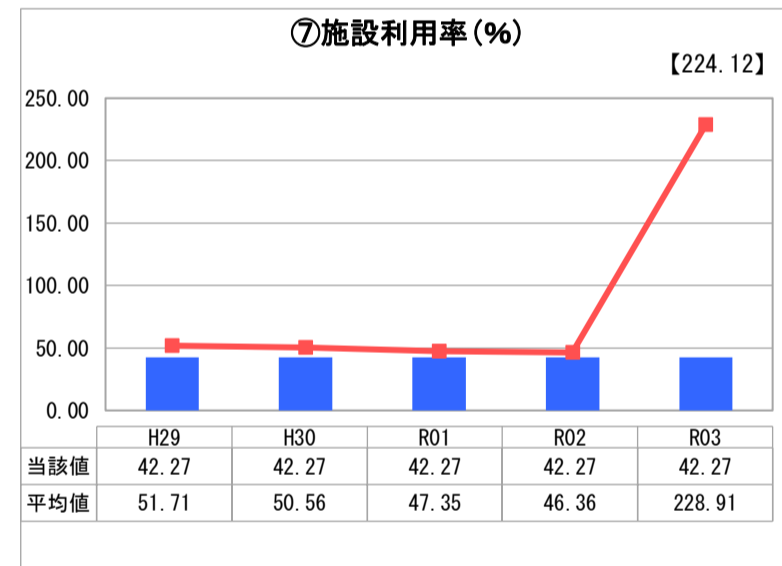
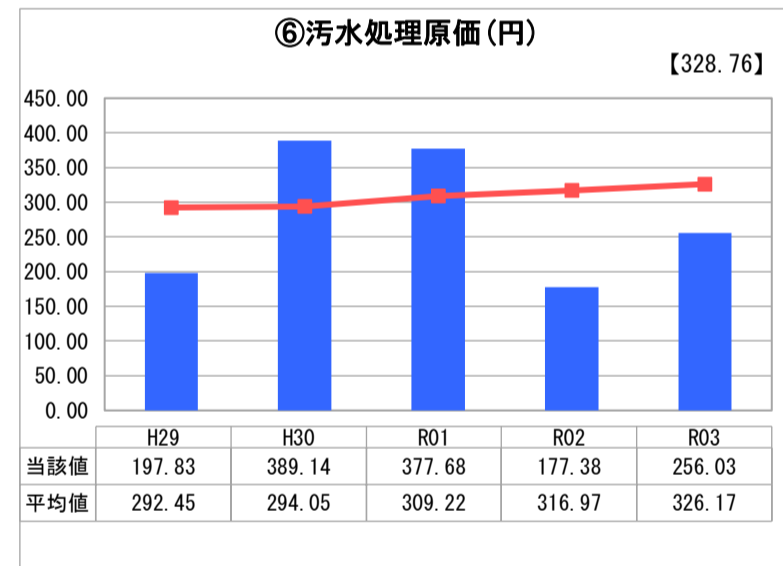
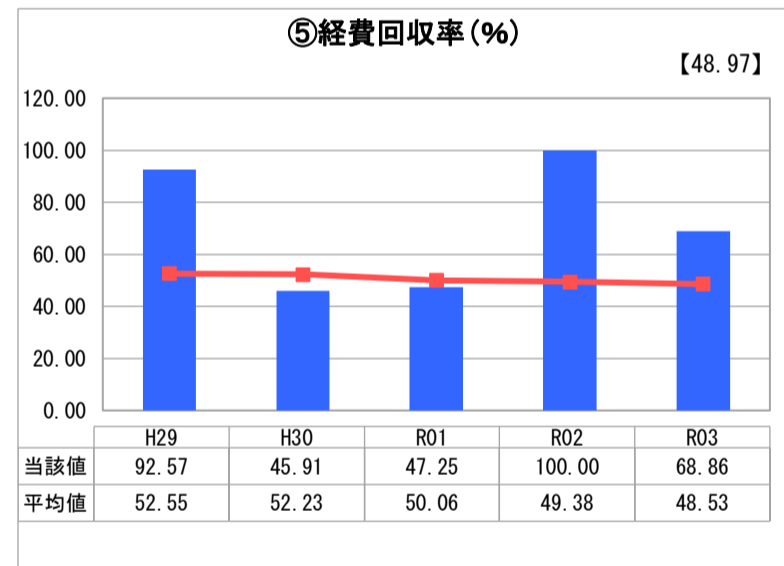
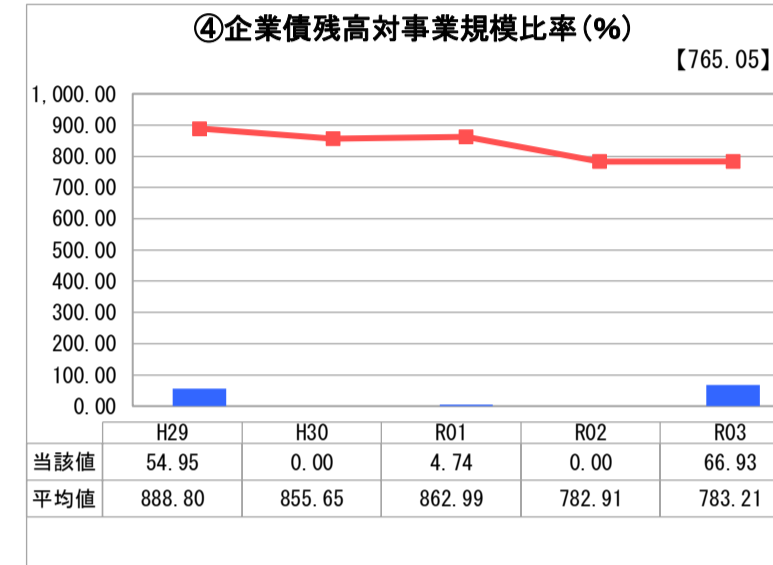
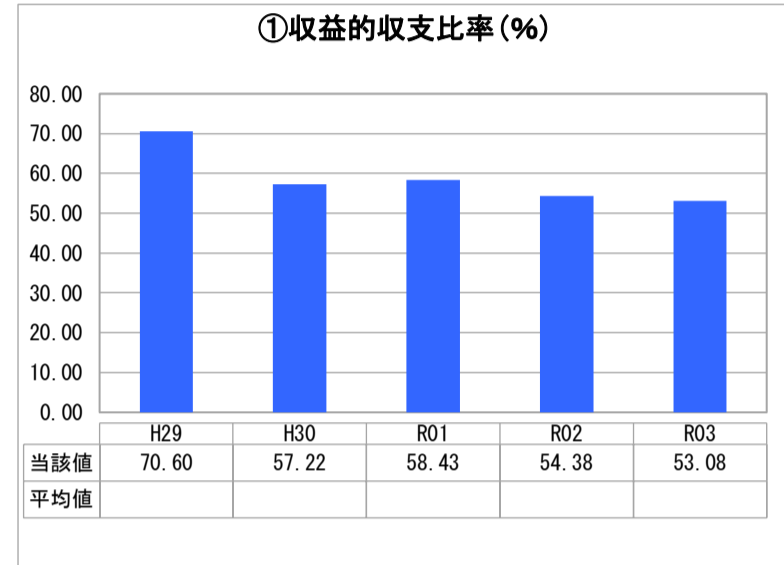
北海道 美深町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	9.64	100.00	2,640

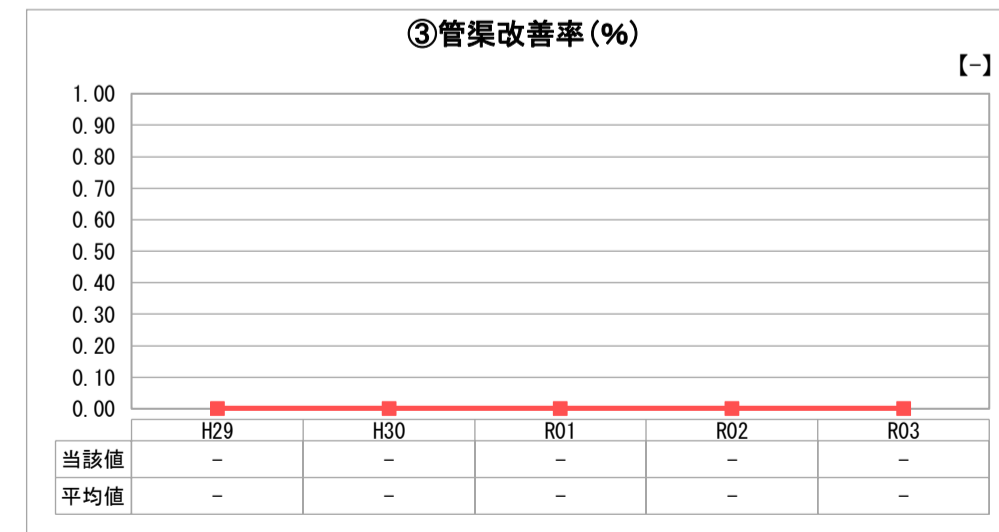
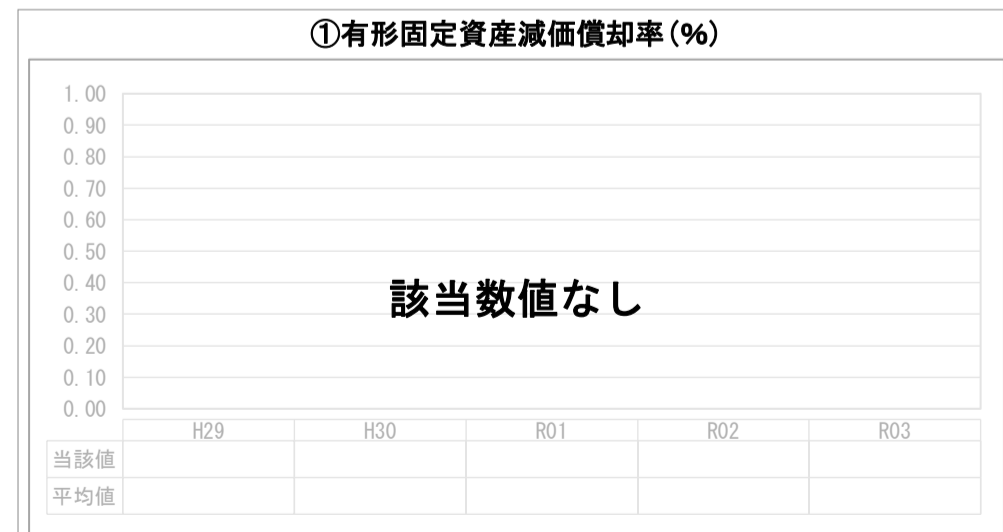
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,991	672.09	5.94
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
380	90.10	4.22

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、空き家の増加等に伴う使用料収入の減少などにより100%を下回っている状況である。このことから、一般会計からの繰入金に依存せざるを得ない状況であり、経営的には悪い状況である。

企業債残高対事業規模比率については、類似団体平均値以下であり、自己資金調達率が高いことがわかる。

経費回収率については、類似団体平均値以上となり、料金の収益性が良いことを示している。

汚水処理原価については、昨年度より若干増加しているが、類似団体平均値以下となり今後も汚水処理原価の急激な上昇について注意していかなくてはならない。

施設利用率については、類似団体平均値以下であり、施設利用の効率性が低い傾向にある。

水洗化率については100%であることから問題ないと思われる。

2. 老朽化の状況について

平成8年度より事業を実施しており、法定耐用年数以上の浄化槽は無いが、適切な維持管理を実施し長寿命化を図っていく。

全体総括

全体として経営状況はあまり良くないと思われる。要因としては、空き家の増加による使用料収入の減少や、維持管理にかかるコストが年々増加しているためと思われる。今後は、令和6年4月より公会計の適用を予定しており、今まで以上に経営状況が明らかになることから、適正な使用料の検討を行いながら一般会計からの繰入金を減らす取組を進めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。